

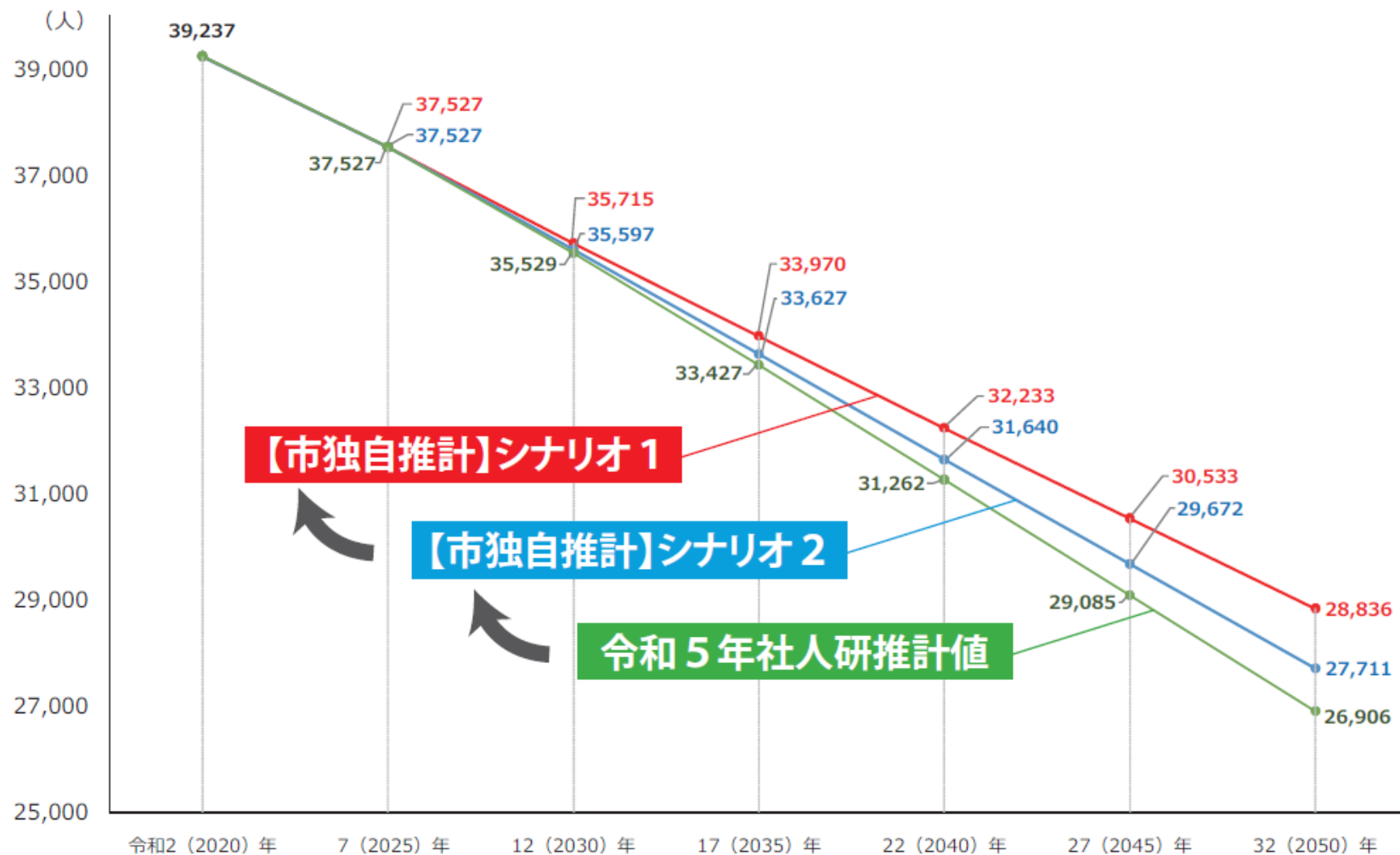


見附市人口ビジョン 令和8年度 達成状況

令和8年8月5日
見附市まちづくり総合会議

見附市人口の将来展望（見附市人口ビジョン令和7年改定）

見附市の人口の現状を分析し、課題を明確にするとともに将来の展望を描くため、将来の人口、出生数、社会動態等に関する令和32（2050）年までの目標値を設定



※第6次見附市総合計画 26ページより

見附市人口ビジョン（令和7年改定） 関連指標

	指標名	令和6年 現状値	令和12年 目標値	令和17年 目標値
見附市独自の人口の将来展望				
	【市独自推計】シナリオ 1	37,445人 (新潟県人口移動調査)	35,715人	33,970人
	【市独自推計】シナリオ 2		35,597人	33,627人
	【参考】社人研推計値		35,529人	33,427人
人口ビジョン達成目標(自然動態)				
	出生数 (新潟県人口移動調査)	190人 (令和6年)	220人	220人
	合計特殊出生率 (新潟県福祉保健年報)	1.21 (令和6年)	1.50	1.64
人口ビジョン達成目標(社会動態)				
	30～40歳代の社会動態 (新潟県人口移動調査)	△14人 (令和6年)	+45人	+75人
	20歳代の社会動態 (新潟県人口移動調査)	△108人 (令和6年)	△70人	△50人

※第6次見附市総合計画 112ページより

人口ビジョンの達成状況（実際の人口）

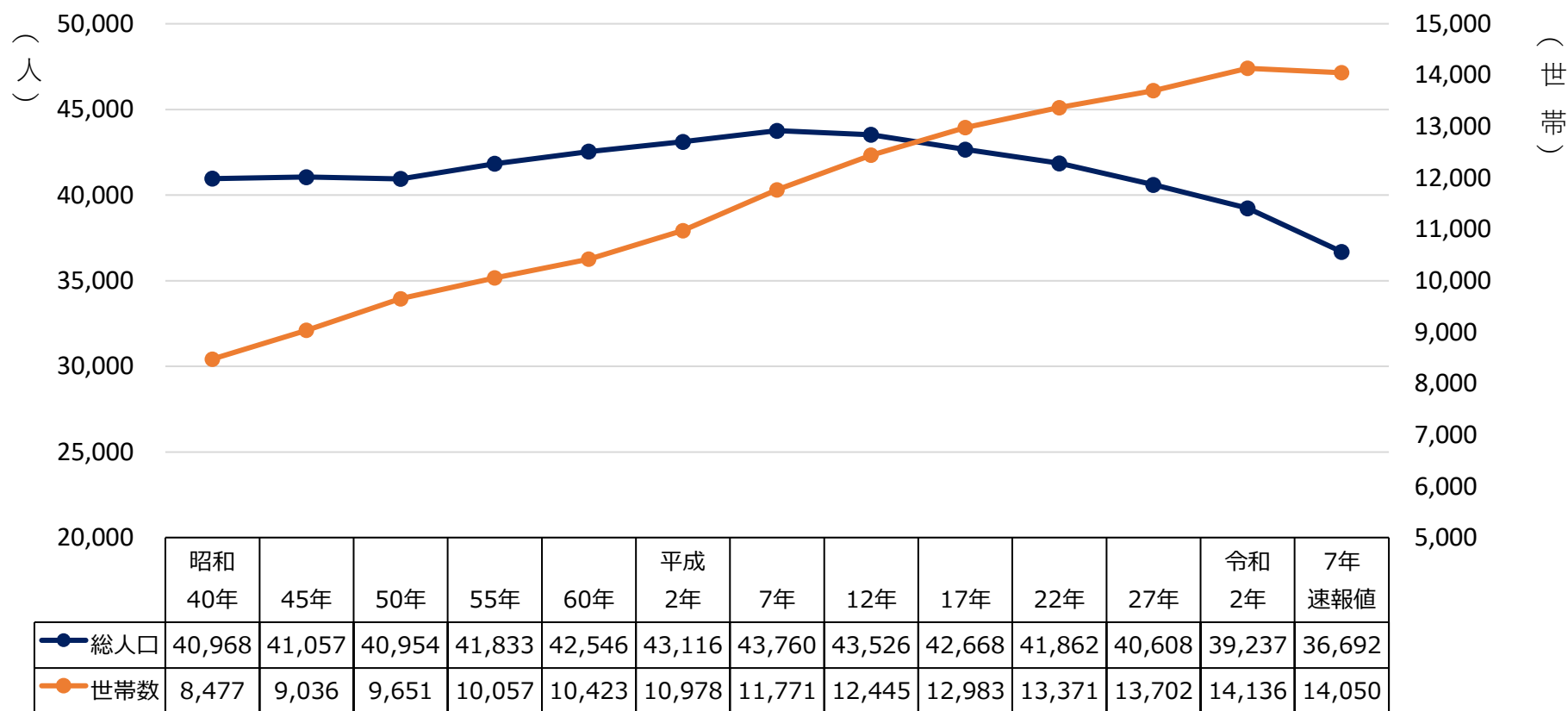
	令和7年	8年	9年	10年	11年	12年
実際の人口	36,692					
市独自推計（R7年改定） 上段：シナリオ1/下段：シナリオ2	37,527	37,165	36,802	36,440	36,077	35,715
	37,527	37,141	36,755	36,369	35,983	35,597
市独自推計比 上段：シナリオ1/下段：シナリオ2	△835					
	△835					
社人研推計（R5年公表）	37,527	37,127	36,728	36,328	35,928	35,529
社人研比	△835					

（参考：これまでの推移）

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
実際の人口	40,608	40,402	40,048	39,801	39,389	39,237	38,889	38,447	37,995	37,445
市独自推計 （H27策定、R2改定）	40,603	40,385	40,167	39,949	39,731	39,128	38,788	38,488	38,108	37,768
市独自推計比	5	17	△ 119	△ 148	△ 342	109	101	△ 41	△ 113	△ 323
社人研推計 （H27～R1：H25公表、 R2～R6：H30公表）	40,553	40,247	39,941	39,635	39,329	39,030	38,666	38,303	37,940	37,577
社人研比	55	155	107	166	60	207	223	144	55	△ 132

※単位：人。各年10月1日時点人口。H27、R2、R7の人口は国勢調査より引用。その他は新潟県人口移動調査より引用。

【参考】令和7年 国勢調査 速報値について①



令和7年10月1日に実施された国勢調査について、5月29日に速報値が公表となりました。

- 見附市の人口：36,692人（令和2年調査比：2,545人減少、△6.5%）
- 見附市の世帯数：14,050世帯（令和2年調査比：86世帯減少、△0.6%）

※全国結果の確定値は令和8年9月頃に公表される予定で、見附市の数値も変更になる場合があります。

また、人口構成等の詳細なデータについても令和8年9月以降の公表となります

【参考】令和7年 国勢調査 速報値について②

(表5) 人口減少数が多い市町村

(単位：人)

順位	市町村名	減少数
1	新潟市	△ 29,657
2	長岡市	△ 15,664
3	上越市	△ 11,403
4	柏崎市	△ 6,771
5	三条市	△ 6,181
6	佐渡市	△ 6,088
7	村上市	△ 5,938
8	新発田市	△ 5,304
9	十日町市	△ 5,279
10	糸魚川市	△ 4,234

※見附市は、県内17位

(表6) 人口減少率が多い市町村

(単位：%)

順位	市町村名	減少率
1	阿賀町	△ 16.4
2	関川村	△ 16.1
3	粟島浦村	△ 14.7
4	出雲崎町	△ 12.4
5	佐渡市	△ 11.8
6	津南町	△ 11.3
7	十日町市	△ 10.6
8	糸魚川市	△ 10.4
9	村上市	△ 10.3
10	魚沼市	△ 10.0

※見附市は、県内22位

(表7) 人口増減率別市町村数

区分		市町村数		市町村名(R7年調査の増減率、%)
		R2年調査	R7年調査	
増加		1	0	
減少	2.5%未満	0	2	聖籠町(△1.3)、刈羽村(△1.5)
	2.5%以上5.0%未満	9	3	湯沢町(△3.3)、新潟市(△3.8)、燕市(△4.5)
	5.0%以上7.5%未満	7	6	新発田市(△5.6)、長岡市(△5.9)、上越市(△6.1)、 見附市(△6.5) 、三条市(△6.5)、南魚沼市(△6.7)
	7.5%以上10.0%未満	9	9	弥彦村(△7.6)、阿賀野市(△7.7)、小千谷市(△7.8)、胎内市(△7.9)、妙高市(△8.1)、田上町(△8.3)、柏崎市(△8.3)、五泉市(△8.6)、加茂市(△9.7)
	10.0%以上	4	10	魚沼市(△10.0)、村上市(△10.3)、糸魚川市(△10.4)、十日町市(△10.6)、津南町(△11.3)、佐渡市(△11.8)、出雲崎町(△12.4)、粟島浦村(△14.7)、関川村(△16.1)、阿賀町(△16.4)
合計		30	30	

令和8年5月29日「令和7年国勢調査速報(新潟県分) - 新潟県総務部統計課」より引用

見附市の人口動態推移(自然動態)

※引用元：新潟県人口移動調査結果（単位：人、集計期間各年10月～9月）



令和7年の出生数は168人（昨年比：－22）。死亡数は590人（昨年比：＋37）。
差引いた自然動態は、△422人（昨年比：＋15）となり、死亡数が減ったことにより自然動態のマイナス幅が縮小しました。

人口ビジョンの達成状況（自然動態-出生数）

	令和7年	8年	9年	10年	11年	12年
出生数実績値	168人					
令和12年度 目標値	220人	220人	220人	220人	220人	220人
目標値との乖離	△ 52人					
合計特殊出生率 実績値	(最新値 R6)					
令和12年度 目標値	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
目標値との乖離	—					

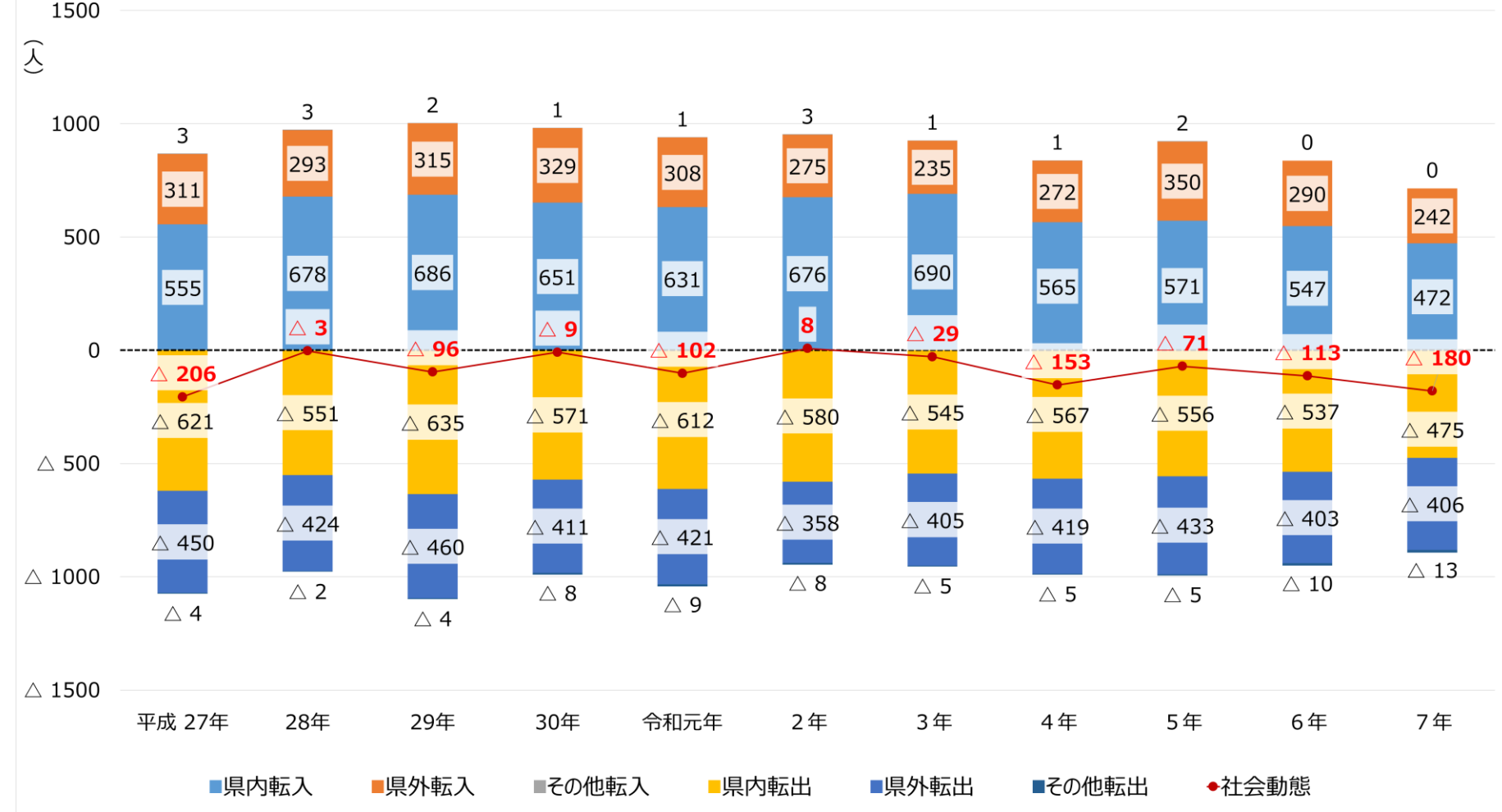
（参考：これまでの出生数/合計特殊出生率推移）

	平成 27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	6年
実績値	306	289	260	252	234	238	224	221	231	190
目標値	300	300	300	300	300	300	250	250	250	250
乖離	+ 6	△ 11	△ 40	△ 48	△ 66	△ 62	△ 26	△ 29	△ 19	△ 60
合計特殊出生率	1.50	1.41	1.38	1.32	1.34	1.34	1.31	1.28	1.33	1.21

※引用元：出生数/新潟県人口移動調査結果（単位：人）、合計特殊出生率/新潟県福祉保健年報

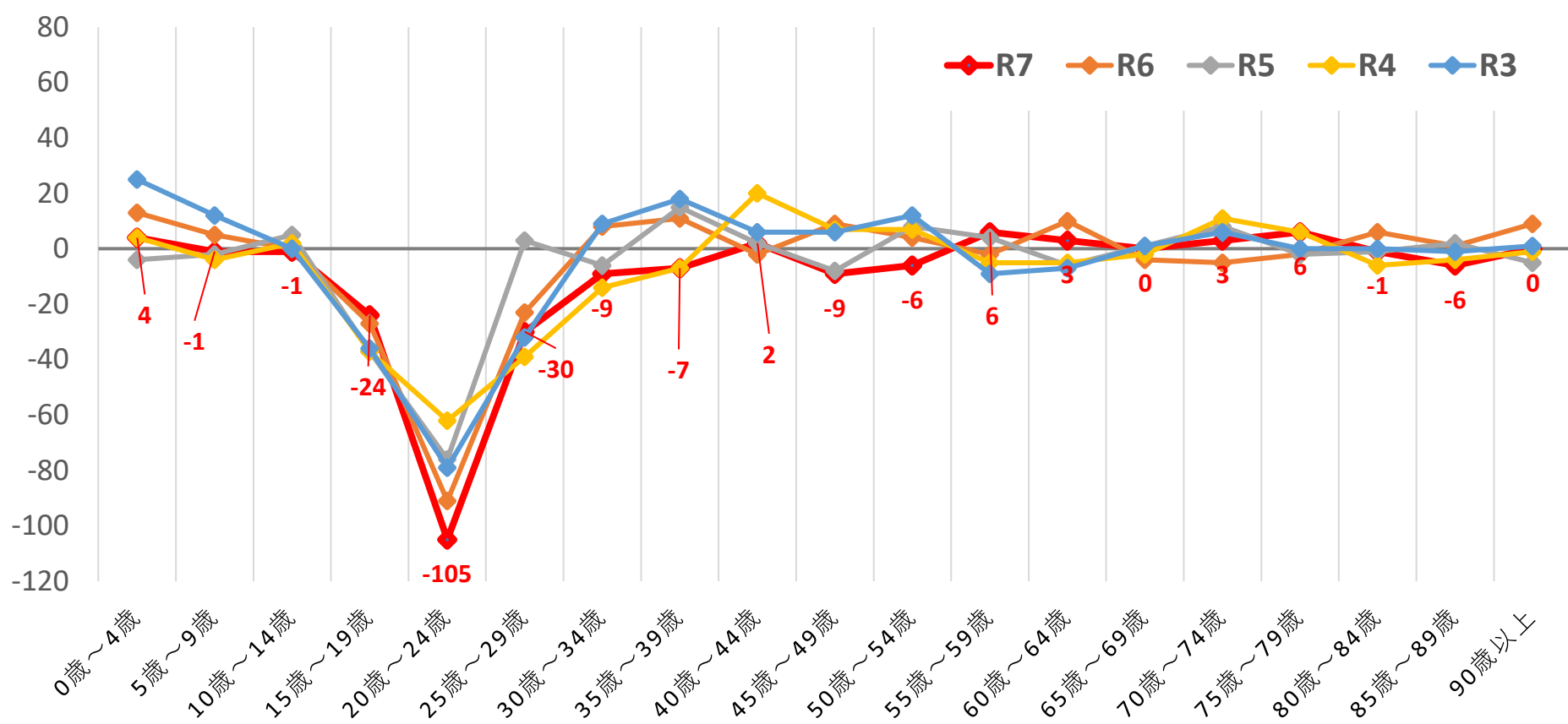
見附市の人口動態推移(社会動態)

引用元：新潟県人口移動調査（集計期間各年10月～9月）



令和7年の転入数は714人（昨年比：－123）。転出数は894人（昨年比：－56）。
差引した社会動態は、△180人（昨年比：－67）となり、転入数が減ったことにより社会動態のマイナス幅が拡大しました。

見附市の人口動態推移（年齢階層別）



引用元：住民基本台帳人口移動報告（※）

20～24歳の転出超過が、ここ数年で最大の－105人となったことや、プラスに転じることもある、30～34歳、35～39歳の年齢層でもマイナスであったため、転出超過が進行している。

※年齢階層別移動者数についてこれまで「新潟県人口移動調査（集計期間が各年10月～9月）」を基準としていたが、新潟県の調査方式変更に伴いデータが引用できなくなったため「住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局所管、集計期間が各年1月～12月）」による集計に改めた（そのため、第6次見附市総合計画の冊子の数値と異なる）

人口ビジョンの達成状況（社会動態①-30～40歳代の社会動態）

	令和7年	8年	9年	10年	11年	12年
30歳代の社会動態 実績値	△ 16人					
40歳代の社会動態 実績値	△ 7人					
30～40歳代の社会動態 実績値	△ 23人					
30～40歳代の社会動態 令和12年度 目標値	+ 45人	+ 45人	+ 45人	+ 45人	+ 45人	+ 45人
目標値との乖離	△ 68人					

（参考：これまでの30～40歳代の社会動態）

	平成 27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	6年
30歳代の社会動態										
実績値	△ 7	+ 2	+ 6	+ 11	△ 6	+ 38	+ 27	△ 21	+ 9	+ 19
目標値	+ 55	+ 55	+ 55	+ 55	+ 55	+ 55	+ 20	+ 20	+ 20	+ 20
乖離	△ 62	△ 53	△ 49	△ 44	△ 61	△ 17	+ 7	△ 41	△ 11	△ 1
40歳代の社会動態（参考）										
実績値	△ 7	+ 21	△ 17	+ 3	+ 11	+ 1	+ 12	+ 27	△ 6	+ 7

引用元：住民基本台帳人口移動報告

人口ビジョンの達成状況（社会動態②-20歳代の社会動態）

	令和7年	8年	9年	10年	11年	12年
20歳代の社会動態実績値	△135人					
令和12年度 目標値	△70人	△70人	△70人	△70人	△70人	△70人
目標値との乖離	△65人					

（参考：これまでの20歳代の社会動態）

	平成 27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	6年
実績値	△ 112	△ 20	△ 127	△ 66	△ 65	△ 45	△ 111	△ 101	△ 73	△ 114
目標値	△ 40	△ 40	△ 40	△ 40	△ 40	△ 40	△ 50	△ 50	△ 50	△ 50
乖離	△ 72	+ 20	△ 87	△ 26	△ 25	△ 5	△ 61	△ 51	△ 23	△ 64

引用元：住民基本台帳人口移動報告

人口ビジョンの達成状況（まとめ）

自然動態（出生・死亡）

- 出生数は168人となり、人口ビジョン目標（220人）を52人下回った。合計特殊出生率も近年低下傾向。
- 死亡数の減少により減少幅はやや縮小したものの、高齢化の進行により今後も自然減が続くことが見込まれる。
- 若い世代が安心して結婚・出産・子育てできる環境づくりを一層推進する必要がある。

社会動態（転入・転出）

- 転入数の減少により社会減は△180人となり、昨年より減少幅が拡大した。特に20～24歳では△105人と近年最大の転出超過となり、20歳代全体で目標を大きく下回った。
- 30～40歳代についても転出超過となり、Uターンの流れが弱まっている。
- 若年層の流出抑制と、子育て世帯・働く世代の移住・定住促進を強化する必要がある。

人口ビジョン達成に向けて

- 令和7年 国勢調査 速報値では36,692人となり、推計値を835人下回る結果となった。
- 出生・子育て支援、若者の定着、雇用・住環境の充実、関係人口・交流人口の拡大など、第6次見附市総合計画に基づく総合的な施策を着実に推進していく必要がある。
- 人口減少を前提とした持続可能なまちづくりを進めていくことが求められている。